

★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:500252 1口1000円～ にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:500251 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。
★JOSO脱プラ基金は注文番号:500254 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。

【お知らせ】 今回配布している「東海第二原発の廃止を求める署名」ですが、2次締め切りが10月末です。用紙に記載されていなく、申し訳ありません。よろしくお願い致します。

2022-23年度活動テーマ 「つくと食べるでつながろう ～私たちの地産地消～」

＼祝・30年／「めぐみちゃん」の新米ができました！



遡る事1993年の秋。この年は、全国적으로お米が大不作になった年で、当時輸入米（タイ米）が注目された年でもありました。

そんな中、「地元の消費者がお米が無くて困っているのだしたら、全量提供します」と申し出て頂いたのが、東町特裁米耕作者組合（茨城県常総市）の皆さんです。その年、常総生協組合員は、輸入米を食べることなく地元のお米を食べることができました。

あれから30年。生産者の中には残念ながら高齢でリタイアする方もいらっしゃいましたが、勤めながらもお米作りを続けている息子さん達も。感謝です。

これからも「田んぼのある風景」を守るためにも、地元のお米をみんなで応援していきましょう。

【502001】水海道のめぐみちゃん(コシヒカリ)白米・5kg 特価2,484円(税込)

東町特裁米耕作者組合 会長 田口さんからのメッセージ

常総生協の皆さんとのお付き合いも30年になりますね。長年のご利用ありがとうございます。私も来年で80歳になります。早いものですね。

さて、今年は田植え後の豪雨や今も続く連日の高温など、例年にも増して天候が不安定でした。高温になると、稲は実を守るためにもみ殻を厚くします。そうなると中のお米の粒が小さくなってしまい、中には実が入らない場合もあります。ただ、何とか今のところ順調に育っているかと思えます。



初期除草剤1回のみの栽培で一番大変なのが、とにかく「雑草取り」です。

稲を覆い隠す勢いで、どんどん生えてきます。毎年のことですが大変な作業でした。

ようやく収穫時期を迎え、除草はひと段落です。今年の東町の作柄は「平年並み」というところでしょうか。鬼怒川、小貝川に挟まれた肥沃な土壌を活かして丹精込めて育てました。今年もたくさんお召し上がりください！9月23日（土）の稲刈り交流会でも、ぜひお会いしましょう。

2023年9月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●

○「常総子応援団」ゴンタで遊ぼうin流星台プレイパーク
夏休みは8/3, 8/4, 8/18, 8/19開催。時間:9時30分～13時30分
※夏休み期間以降は毎週木曜日に外遊び活動をしています！

- ・9/16(土) 青木農園援農交流会
- ・9/21(木) 地区懇談会@牛久中央学習センター 1F調理室
- ・9/28(木) 地区懇談会@柏中央公民館 調理室
- ・9/27(水) 定例理事会

○提携・協同・連帯企画●

- ・9/6(水) 東海第二原発差止訴訟 原告団世話人会
- ・9/18(祝・月) 平和の集い牛久2023 後援会
- ・9/20(水) 茨城県生協連 理事会
- ・9/22(金) JFSA理事会
- ・9/24(日) 「原発をやめれば電気料金は安くなる」
大島堅一 後援会 @牛久中央生涯学習センター

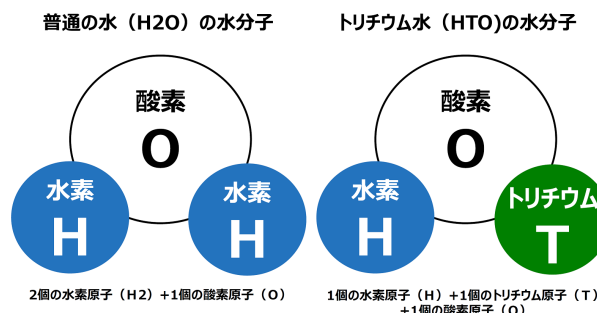
ALPS処理汚染水、押さえておきたいポイント ～トリチウムについて～

※参考文献：FOE Japanより

Q：トリチウムって何？

水素の同位体である「三重水素」で、陽子1個と中性子2個から構成されます。半減期12.3年の放射性物質で、ベータ崩壊をし、ヘリウムに変わります。放出するエネルギーは小さく、最大で18.6keVで、セシウム137の最大値512keVの30分の1程度です。

トリチウムは自然界にも水の形で存在しますが、核実験や原発施設からの放出によって増加しています。



Q：トリチウムは安全？

トリチウムの影響については**専門家でも意見が分かれています**。政府は、トリチウムからの放射線は紙一枚でも遮ることができる、**水と同じ性質を持つため人や生物への濃縮は確認されていない**と安全性を強調しています。

トリチウムが出すベータ線はガンマ線と比べて飛距離が短いのですが、こうした放射性物質が問題になるのは、体内に入ったときの影響です。トリチウムが**有機化合物中の水素と置き換わり**、食物を通して、人体を構成する物質と置き換わったときには体内に長くとどまり、近くの細胞に影響を与えること、さらに、**DNAを構成する水素と置き換わった場合**には被ばくの影響が強くなること、トリチウムがヘリウムに壊変したときにDNAが破損する影響などが指摘されています。

Q：トリチウムは世界中の原発から排出されているから問題ないのでは？ なぜ、今回の放出だけ問題にされるの？

今回の処理汚染水の放出が、いままでの原発からの排水と大きく違う点は、処理されているとはいえ、**デブリ（核燃料が溶け落ちたもの）に触れた水**の放出であるということです。これは、**トリチウム以外にも、さまざまな放射性物質を含んでいる**ことを意味します。

トリチウムに関して言えば、確かにトリチウムは国内外の原発から放出されています。日本の沸騰水型原発（BWR）からは1年間に数百～数兆ベクレル、加圧水型原発（PWR）からは数十兆ベクレル、まだ完成していませんが、六ヶ所再処理工場からはけた違いに多くのトリチウムが排出されます。海外の原発でもトリチウムが放出されています。ただ、環境中のトリチウムの量が少しずつ多くなることの累積的影響についてはまだわかっておらず、世界中の原発から出されているからよい、ということにはなりません。

Q：トリチウム濃度を排出濃度基準の『40分の1』に希釈する？

政府・東電は、処理汚染水を海水で希釈し、トリチウム濃度を1リットルあたり1,500ベクレルにして放出するとしています。これは、トリチウムの排出濃度基準1リットルあたり6万ベクレルの「40分の1」と説明されていますが、果たしてそうなのでしょうか？

6万ベクレル/リットルというのは、原発敷地内に排水以外に考慮すべき放射線源がない場合、かつ排水中にトリチウムのみが含まれている場合の基準になります。

法令上、福島第一原発の敷地境界線における追加線量を、年間1ミリシーベルトにすることが求められていますが、敷地上のさまざまな放射線源を考慮すれば、液体廃棄物の線量は0.2ミリシーベルト程度に抑える必要があり、また、セシウム134、137、ストロンチウム90など他の放射性物質も含まれていることも考慮し、トリチウムの濃度は1,500ベクレル/リットルと決められたという経緯があります。

理事会よもやま通信

常総生協はみんなの「ほしい！食べたい！知りたい！」を応援します

発行 常総生活協同組合理事会
TEL0297-48-4911
FAX0297-45-6675

班配達のススメ



班配達の紹介 その③



今回も二人班のところにお邪魔させていただきました。

★みずき野の班紹介

班メンバーは二名。お二人とも生協歴何年？と考え込むほどの近所さん組合員。最初は七人ぐらいでしたが、人数が多いので二つの班が分かれて四人になり、引越された方もいて、今は二人班だそうです。

★班配達の様子

○供給職員がインターホンを鳴らすやいなや、トラックから荷物を降ろしてドアの横にシッパースタンバイ。

ドアが開いて玄関から出てらした組合員さんが中身だけを受け取って、上がり口に商品を並べ始めましたところにもう一人の組合員さんがいらつしやいました。(素晴らしいタイミング！)



★組合員さんのお話

○「お届け明細」を見ながら仕分けしている様子を見ていた私の背後に供給担当のカツオ君の姿が：（組合員さんが愛称で呼んでおられました）。磯野さんはこの近辺に詳しい様で、時々、三人でこの辺りの情報共有をすることも有るそうです。それと、「あべちゃん・com」のファンで、記念誌にしよう！と盛り上がりました。

常総生協の班配達がなかったら、お互いに知り合うことはなかったと思います。全く接点がなかったですから。たまたま班が分かれたときも一緒に。いつも供給の日には、ここで「何話したっけ？」と後から思い返しても忘れていくくらい、いろんな話をしています。Aさん曰く、「Gさんが介護が始まって、ようやく落ち着いた頃に、今度は自分の方も介護が始まって、と言う時期がありました。でも時期がずれたことで、経験したことなどを教えてもらったりして、本当に助かりました。」とのこと。お二人とも生協を休眠したりすることもあったそうですが、班配達だったから、互いに調整しながら乗り切って、今も続けているそうです。この班配達で会える時間は、お互いのこと、近所のことなど週に一回、情報交換？おしゃべり？する貴重な時間だそうです。

生協の運動や活動には参加したことない、購入だけの組合員ですけど：とおっしゃっていらつしやいましたが、「先週注文したトマトが美味しかった！」など、商品に関してもお互いに情報交換することが、多々あるそうです。

〓〓〓何より、この班配達の時間を大事に思ってくださいているお二人にお会いでき、お話しが聞けて、私も組合員でいることに感謝した一日でした。(取材・文責…増本) 〓〓〓



常総生協が好きだー



『理事会よもやま通信』へのご意見・ご感想は、OCR用紙の「意見・要望・連絡欄」、ネット注文の方は「ご意見のページ」にご記入をお願いいたします。

愛媛・無茶々園の今年の柑橘についてのお知らせ (商品部・柿崎洋)



毎年、味の濃い美味しいみかんを私たちにお届けしている無茶々園。常総生協とおつき合いも40年近くになります。無茶々園は1974年に有機農業の研究園として全国からの若者が集ってスタートしました。今では、その第二世代や地域の内外、海外からも働く仲間が集っています。

他方で、無茶々園と取り巻く環境は大きく変化している様です。1つは地域の農業従事者の減少。みかんの生産者も激減しています。もう1つは環境。中でも害虫被害は年々ひどくなっています。

今年特にひどいのが「ミカンバエ」です。果実が小さいうちに卵を産み付け、収穫時に果実内部で孵化する厄介な虫です。毎年、無茶々園から常総生協へは、化学農薬無し～減農薬(ネオニコチノイド系農薬)の柑橘を届けて頂いていましたが、今年はどうしてもネオニコチノイド系農薬を使わざるを得ない状況とのことです。

※ネオニコチノイド系農薬

- ・ネオニコチノイド系農薬は、国内では主にお米の「カメムシ防除(殺虫)」に広く使われています。
- ・生き物の神経系(アセチルコリン受容体)に作用し、神経伝達物質の動きを阻害します。
- ・農薬の使用量が少ないため、農薬販売会社では「エコな農薬」として広めましたが、他方でミツバチが帰巢できなくなる影響や発育過程の子どもの脳神経にも影響がある事が報告されており、EUや韓国、アメリカでも禁止の動きです。常総生協でも要注意農薬として注意喚起し、果物を除き野菜と米では使用しないことになっています。

この間、無茶々園の生産者事務局と「何とか使わない方法は出来ないか」協議してきましたが、地域全体での対応が今年はどうしても必要である事、代替できる策が現状無いとのことでした。

「今期のみかんは扱わない」という方法もあるかもしれませんが、それでは地域の経済が立ち行かなくなります。

生産者も苦渋の決断ですが、今季の下記品目についてはネオニコチノイド系農薬を使用しますので、ご判断いただきご利用くださいます様よろしくお願い致します。

■対象の柑橘(7～8月にかけて果皮の厚みが4mm以下の柑橘)

- ・温州みかん
- ・愛媛果試28号(紅まどんな)
- ・ポンカン

無茶々園からお手紙を頂きましたのでご一読ください。

常総生活協同組合 組合員のみなさま

いつも無茶々園のみかんをご利用いただき、誠にありがとうございます。季節が巡るのは早いもので、もうすぐみかんシーズンの到来です。今年も美味しい果実をみなさんにお届けできるよう、無茶々園の農家たちは一年を通して農作業に励んできました。柑橘が実を結ぶのは一年に一度きり。その年の気候天候によって毎年同じものはできないのが農業の醍醐味です。今年ならではの一期一会の風味を楽しんでください。

さて、今期の柑橘の生育状況ですが、今のところどの品種もしっかり実をならしており、玉伸びも順調です。本来なら大喜びで収穫の秋を迎えるところですが、一方で新しい悩みのタネも生まれています。それは有機農薬だけでは対応できない病害虫の増加です。これらは果実を食害したり、卵を産みつけたり、樹そのものを枯らしたりすることにより農家経営に甚大な被害を与えます。放っておくと柑橘業に深刻な影響を及ぼすため、無茶々園以外の生産者団体と連携した地域全体での対策が必要になっています。そのような事情もあり、今期の温州みかん・愛媛果試28号・ポンカンについては、残念ながらネオニコチノイド系農薬での防除を行わねばならなくなりました。私どもとしても苦渋の決断ですが、産地の窮状を鑑み、何とぞご理解いただけますと幸いです。

最後になりますが、あらためて無茶々園の栽培指針をお伝えします。

- ①農薬の使用はゼロからスタートして少ない回数に抑える。
- ②農薬を使用する場合は有機栽培でも使用可能な農薬を優先して選択する。
- ③化学農薬を使用する場合も最低限度にとどめる。

上記のように無茶々園の柑橘は、農薬不使用から数回の使用までの栽培状況を包括して出荷に取り組んでいます。その理由は、私たちは単純に「無農薬栽培」という結果をゴールにするのではなく、地域の多くの生産者に参画してもらい、生産者の経営が成り立つ範囲でそれぞれが病害虫のリスクに向き合って、地域全体として農薬の削減や環境に負荷をかけない柑橘栽培を続けていくことを目指しているためです。

いま、温暖化の進行や生産者の高齢化、作業にあたる人手の不足が進み、昔以上に農薬削減が難しい環境になっていることを実感しています。しかしながら、生まれ育ったこの地で、未来に向かって営々と生きていくためにも、これから見据えた地域農業の在り方を常に考えていきたいと思いますので、これからも何とぞお力添えのほどよろしくお願いいたします。

農事組合法人無茶々園
株式会社地域法人無茶々園